

1 昭和 56 年度限定指導品種「イシカリ」「ハマアサヒ」

(農試 技術部 水田作科)

55年冷害の影響により、水田種子の供給が逼迫しているため、  
「イシカリ」と「ハマアサヒ」を今年度の限定指導品種とした。  
いずれも極早生種であり、高冷地または県中北部の山間地帯の品  
種である。

(1) 背景とねらい

高冷地及び中北部山間地の奨励品種であるマツマエは、55年冷害で種子の需給上不足を  
来し、これに代替できる品種が早急に必要となったので、これまでの奨励品種決定現地調  
査結果をふまえ適品種を選定しようとする。

(2) 品種の特性

1) 限定指導品種の特性

品種名	早・中・晩	出穂の早晚	稈長	穂長	草型	玄米千粒重	収量性	
イシカリ	極早生 (高冷地)	新雪より3～ 4日、マツマ エより、7日 ～9日早い	極短稈	新雪より やや長い	偏穂 数型	マツマエ並で 新雪よりかな り大きい	極早生として は多収	
ハマアサヒ	極早生 (県中北 部)	マツマエより 1～2日遅く、 シモキタより 5～7日早い	中短稈	シモキタ 並からや や短い	中間型	シモキタより やや大きい	シモキタ並か らやや多く、 多収となりや すい	
品種名	品質	諸抵抗性				優 点	欠 点	栽培適地
		葉いもち	穂いもち	耐冷性	耐倒伏性			
イシカリ	中の上	強	強	やや強	強	<ul style="list-style-type: none"> <li>○草姿良</li> <li>○品質すぐれ る</li> <li>○いもち耐病 性強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出穂期が早 い (障害不稔出 やすい)</li> <li>○初期成育や や劣る</li> </ul>	新雪の栽培地 帯および、こ れより早い品 種を栽培して いた地帯に限 る
ハマアサヒ	中の上	強	強	強	強	<ul style="list-style-type: none"> <li>○草姿良</li> <li>○品質も良い</li> <li>○強稈多収</li> <li>○いもち耐病 性強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○穂揃い劣る</li> <li>○ものがれ病 に弱い</li> </ul>	標高 350 m 程 度までで、シ モキタが晩生 となる地帯

(3) 栽培上の注意点

1) イシカリ (ユーカラ×ササホナミ)

ア、出穂期が高温で早まることがあり、生育量が不十分のまま出穂したりすることが考えられるので、適地以外での栽培は行わないこと。また、栽培適地においても、極端な早植えや、遅植えは行わないこと。

イ、初期生育が劣り、茎数不足、穂数不足となることがあるので、健苗育成を行い、移植の際には、従来の品種より栽培密度を多くするなどして、穂数確保につとめること。

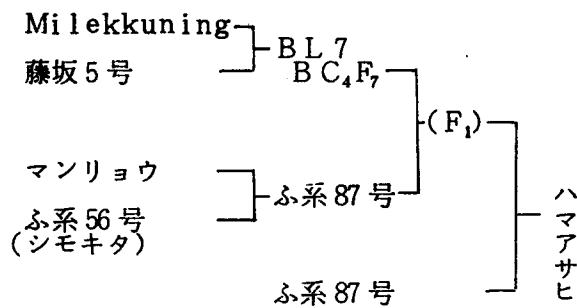
ウ、出穂期が早いため、減数分裂期に低温となることが多いので、その時期の低温には、深水管理を行い、幼穂を保護すること。

エ、いもち病には「強」となっているが、標準的防除を行うこと。

オ、刈り遅れによって、さび米やもみ割が発生し、品質が低下するので、適期刈取りを行うこと。

2) ハマアサヒ

組合せ



注) Milekkuning は東南アジアの品種でいもち病抵抗性遺伝子をもっている。

ふ系87号はすぐれた形質をもっていたがいもち病に難点があり品種とならなかった。

ア、苗は作りやすい方であるが、やや葉身が伸びやすいので、育苗の基本的温度管理を厳守すること。

イ、初期成育もよく、耐肥性もシモキタよりまさる。しかし、過度の窒素施肥では葉身が伸びて草姿をみだす。また、葉色が淡い方に属するので窒素肥には充分注意する。窒素施肥はシモキタより多めで、ハヤニシキ並の窒素施肥量とすること。

ウ、極早生種であるため、穂孕期に低温の襲来がしばしばあるので、この時期の低温には深水管理を行うこと。

エ、稈はシモキタより強くハヤニシキ並みであるが、多肥で座折倒伏するので注意する。

また、穂揃いが良くないので、多肥では品質の低下も考えられる。

オ、いもち病の抵抗性はかなり強いが、標準的防除を行うこと。

カ、もんがれ病にかかりやすいので、早期防除につとめること。

キ、カラバエに対しては、アキヒカリより強く、中程度とみられるが、多発地帯では防除を行うこと。

ク、成熟期に達するのは、マツマエよりやや遅い程度の品種なので、刈遅れによる品質の低下が考えられるので、適期刈取りを行うこと。